



情報活用能力チェックリスト 低学年用



ねん くみ なまえ

できたら、○をつけましょう。

知識・技能	1	キーボードでIDとパスワードをにゅうりょくして、ログインができる。	
	2	クロムブックでしゃしんやどうがやQRコードをとって、みることができる。	
	3	グーグルクラスルームで、先生からのメッセージをよむことができる。	
	4	しりたいことを、本やインターネットからしらべることができる。	
	5	フィグジャムですけいやもじをかくことができる。	
	6	そうさ中に「おかしいな」と思ったら、すぐに大人にそうだんができる。	
	7	人のしゃしんを、かってにとつてはいけないことをしている。	
	8	ほかの人がかいたものやつくったものをたいせつにして、かってにつかてはいけないことをしている。	
	9	IDやパスワードが、たいせつであることをしている。	
思考力・判断力・表現力等	10	先生が出したかだいから、じぶんにあったかだいをえらぶことができる。	
	11	あいてにつたわるように、えや文をつかってじぶんのかんがえをまとめることができる。	
	12	つたえたいことを、じゅんばんにせつめいすることができる。	
	13	みせたいものをうつして、はっぴょうができる。	
	14	2つのものをくらべて、おなじところやちがうところを見つけることができる。	
学びに向かう力・人間性等	15	しりたいことは、なるべくじぶんの力でしらべるようにしている。	
	16	じぶんのこじんじょうほう（なまえ・でんわばんごう・じゅうしょ・ID／パスワードなど）をほかの人におしえないようにしている。	
	17	ルールを守ってクロムブックをたいせつにつかっている。	
	18	まなんだことをふりかえることができる。	



情報活用能力チェックリスト 中学年用



年 組 名前

できたら、○をつけましょう。

知識・技能	1	ローマ字入力で、短い文章入力ができる。(1 分間30文字以上)	
	2	クロムブックで、もくてきをもって、写真や動画、QR コードをさつえいすることができる。	
	3	フィグジャムなどを使って、友だちの考えを知ったり、友だちに考えをつたえたりできる。	
	4	インターネットで調べるときに、キーワードを組み合わせてけんさくをすることができる。	
	5	スライドなどを使って、1つの画面に図や写真を入れた作品をつくることができる。	
	6	同じところやちがうところを比べると、たくさんのことに気づけることを知っている。	
	7	人をだまそうとするじょうほうや、よくないホームページを見つけた時に、大人にそうだんができる。	
	8	人の写真をとるときや、ほかの人がつくったじょうほうを使うときには、その人のきょかをとっている。	
	9	自分の文章の中に、他の人の言葉や文章を引用する部分を「 」でくくって書いている。	
	10	こじんじょうほうや ID (ユーザー名)、パスワードが大切であることを知っている。	
	11	スクラッチやビスケットなどを使って、かんたんなプログラミングを作ることができる。	
	12	新聞・テレビなどのニュースや記事や写真は、伝えるがわの思いや考えがあることを知っている。	
思考力・判断力・表現力等	13	先生が出したかだいをもとに、自分のかだいをせっていすることができる。	
	14	調べたことを写真や図を使ってスライドをつくり、それを見せながら発表をすることができる。	
	15	2つのものの同じところやちがうところを比べて、問題を見つけることができる。	
	16	調べたことを同じしゅるいやなかまに分け、表やグラフなどにせいりすることができる。	
	17	集めたじょうほうから、ひつようなものをえらんでまとめることができる。	
学びに向かう力・人間性等	18	かだいに対して、いろいろなほうほうでじょうほうをさがすようにしている。	
	19	自分や他の人のこじんじょうほうを他の人に教えないようにしている。	
	20	調べてまとめたり、発表したりする学習では、クロムブックを活用するようにしている。	
	21	集めたじょうほうを、まとめて発表するなどの活動や学び方をふりかえり、次に生かそうとしている。	



情報活用能力チェックリスト 高学年用



年 組 名前

できたら、○をつけましょう。

知識・技能	1	ローマ字入力で、短い文章入力ができる。(1分間40文字以上)	
	2	Chromebookで撮影した写真や動画を編集することができる。	
	3	ドキュメントやスプレッドシート、フィグジャムなどでデータを共有し、協働して学習ができる。	
	4	知りたいことをキーワードを組み合わせてたり、検索サービスを選んだりして調べることができる。	
	5	写真や図や文章のレイアウトを考え、見やすさを考えたスライドをつくることができる。	
	6	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、自分から見ないようにし、人に相談ができる。	
	7	人の写真を撮る時や、他の人がつくった情報を使うときには、その人の許可をとっている。	
	8	自分の文章の中に、他の人の言葉や文章を引用する部分を「 」でくくって書いている。	
	9	個人情報やID(ユーザー名)、パスワードは大切であることが分かり、自分で安全に管理している。	
	10	簡単なプログラミングを作ることができる。	
	11	新聞やテレビなどのメディアからの情報には、発信者の意図が含まれていることを分かった上で利用している。	
思考力・判断力・表現力等	12	自分の興味・関心や疑問をもとに、自分の課題を設定することができる。	
	13	自分の考えが伝わるように、資料を活用するなど、表現を工夫することができる。	
	14	調べたことを、表やグラフ、写真などを用いてスライドなどに分かりやすくまとめ、発表することができる。	
	15	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、思考ツールなどに整理して表すことができる。	
	16	知りたいことを複数の方法で調べ、情報を比較し、必要なものを選んでまとめることができる。	
	17	表やグラフから、必要な情報や数値を正確に読み取ることができる。	
学びに向かう力・人間性等	18	課題に合わせていろいろな方法で情報を探し、それを比較して活用しようとしている。	
	19	個人情報をネットワーク上に書きこまないようにしたり、パスワードを他の人に分からないようなものにしたりしている。	
	20	情報を調べて分析し、まとめたり発表したりする学習では、必要に応じて自分からChromebookを活用するようにしている。	
	21	伝えたいことが、受け手にきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方や学び方をふり返り、次に生かそうとしている。	
	22	SNSなどでメッセージや画像・動画を送る時には、だれが見るか、その内容が適切かどうかなどを考えるようにしている。	



情報活用能力チェックリスト 中学生用



年 組 名前

できたら、○をつけましょう。

知識・技能	1	ローマ字入力で、文章を打つことができる。(1分間60文字以上)	
	2	Chromebook で撮影した写真や動画を編集し、スライドやドキュメントの資料に貼ったりできる。	
	3	ドキュメントやスプレッドシートなどで友達と協働して学習し、マイドライブにデータを整理して保存することができる。	
	4	知りたいことを、本やインターネットなど複数の方法で調べ、比べて、必要な情報を判断することができる。	
	5	話す内容に合わせて、友達と協働してスライドを作ることができる。	
	6	他者の考えと比較しながら目的と意図に応じて情報を整理することで、より妥当な結論を導き出せることを知っている。	
	7	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、自分から見ないようにし、人に相談ができる。	
	8	人の写真を撮る時や、他の人がつくった情報を使うときには、肖像権や著作権に気をつけることができる。	
	9	自分の文章の中で、引用する本や文、語句などは「」を使ってそのまま抜き出し、参考にした資料を参考文献として必要事項を明記することができる。	
	10	個人情報や ID (ユーザー名)、パスワードは大切であることが分かり、自分で安全に管理している。	
	11	課題を解決するためにプログラムを使って自分の意図する動きを実現する命令を複数考え、それぞれの良さを比べて選択することができる。	
	12	情報を発信するときには、その情報が残ったり、広がったりする危険性があることを理解している。	
思考力・判断力・表現力等	13	さまざまな事柄や日常の中から問題を見出し、自分の課題を設定できる。	
	14	説明するとき等に資料や ICT 機器を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。	
	15	情報を統合して論理立てて考え、目的や意図に応じて新聞やリーフレット、スライド等にまとめて伝えることができる。	
	16	見出した問題に対して、多面的に調べ、目的や意図に応じて情報を整理し、必要なものを選んでまとめることができる。	
	17	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、思考ツールなどに整理して新たな意味を見出すことができる。	
	18	複数のホームページから情報源の信頼性を判断し、活用することができる。	
	19	表やグラフから変化や傾向を読み取り、分かりやすく説明することができる。	
学びに向かう力・人間性等	20	複数の情報を比較して、根拠をあげて自分なりの考えを提案するようにしている。	
	21	個人情報をネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他の人にわからないようなものにしたりしている。	
	22	必要に応じて自分から Chromebook を適切に活用し、学習することができる。	
	23	伝えたいことが、受け手の状況に応じてきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方や学び方を振り返り、次に生かそうとしている。	
	24	SNS などメッセージや画像・動画を送る時には、誰が見るか、その内容が適切かどうかを考え、情報社会における自分の責任や義務を踏まえ行動しようとする。	